

東京都

第132号

(一社)東京都スポーツ推進委員協議会

2024年3月29日

編集：情報委員会

社員総会



令和6年度事業方針・事業計画概要

【方針】

令和元年末から私たちの生活に大きな影響を与えてきた新型コロナウイルスは、昨年5月に感染症の位置づけが季節性インフルエンザと同じ5類相当となったことから、様々な場面でコロナ禍前の日常に戻ったかのように思われます。しかし新型コロナウイルスはその特性を次々と変化させて新たな変異株が生まれていますので、スポーツ推進委員の活動においては感染防止対策を怠らないようにしていきたいものです。

さて、今年はフランスのパリで2024年オリンピック・パラリンピックが、来年には東京で2025デフリンピックや2025世界陸上選手権大会が開催されます。東京2020オリンピック・パラリンピックを契機としてスポーツ実施率70%を目指してきたものの、新型コロナウイルスのまん延などもあってその実現には至っていないのが現状です。私たちスポーツ推進委員は地域スポーツを支える人材として位置づけられており、その期待も大きいことから、こうした大会を再びスポーツ実施率向上やパラスポーツの普及に向けた好機と捉えて活動していくことが求められます。

一方、学校部活動の地域連携・地域移行も各地で本格的な取り組みが始まっています。東京都は「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」及び「学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画」を策定し、子供たちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる環境の整備や各地区の実態に合った地域連携・地域移行を実現するための具体的な取組やスケジュール等を示しています。その中で私たちスポーツ推進委員は指導者としての役割が期待されています。各地区や学校の考え方によってその求められる役割は異なりますが、引続き関心をもって臨んでいく必要があります。

令和6年度は、こうした社会背景を踏まえ、東京都と連携した活動を展開していくとともに、昨年度から始めた「パラスポーツトレーニングセンター」におけるパラスポーツ体験教室の運営にも協力していきます。

皆さまのご理解、ご協力を得ながら進めていきますので、よろしくお願いいたします。

【会議】(会場は予定)

1. 社員総会

第一回 5月18日(土) 三鷹市市民協働センター

第二回 3月中旬 未定

2. 理事会

4月10日、5月8日、6月12日、7月10日、9月11日、10月9日、11月6日、

12月11日、1月8日、2月12日、3月12日

3. 各委員会 随時開催

4. 会長会 6月16日(日)：三鷹市市民協働センター

5. 監事監査 5月 日()

6. 表彰審査会

4月22日(月)：関東大会功績者及び都スポ協功労者

5月 日()：全国大会功労者等

7. その他

特別委員会は必要に応じ随時開催

【事業】

1. 東京都共催事業(予定)

(1) 広域地区別研修会

・広域地区別研修会開催地区(会場は予定)

地区	担当地区	期日	会場
1B	港区	7月20日(土)	港区スポーツセンター
2B	北区	9月28日(土)	北とびあ
3B	目黒区	9月7日(土)	めぐろパーシモンホール
4B	豊島区	9月28日(土)	IKE・Biz 豊島産業プラザ
5B	足立区	9月28日(土)	足立区区役所庁舎ホール
6B	日野市	9月7日(土)	市民の森ふれあいホール
7B	福生市	8月24日(土)	福生市民会館ホール
8B	立川市	月日()	未定
9B	小金井市	9月7日(土)	宮地楽器ホール
10B	清瀬市	9月21日(土)	清瀬市下宿地域市民センター
11B	八丈町・利島村	11月22日(金)	ニューピア竹芝サウスタワー

・令和7年度 担当地区への事前説明会：7月予定

(2)課題別研修会

研修会名	期日	会場
「スポーツ推進委員の課題解決には」(仮)	11月2日 (土) or 23日 (土・祝)	墨田区曳舟文化センター(仮)

(3)地域スポーツ支援研修会

研修会名	期日	会場
地域スポーツ支援研修会(区部)	令和7年1月18日(土)	港区男女参画センター『リーブラ』
地域スポーツ支援研修会(市町村部)	令和7年2月1日(土)	未定
地域スポーツ支援研修会(全域)	令和7年2月15日(土)	未定

(4)初級パラスポーツ指導員養成講習会(5日間)

日程:①7/21(日)②7/27(土)③8/4(日)

④8/24(土)⑤8/31(土)

会場:①③:文京総合体育館

②④⑤:SUBARU 総合スポーツセンター
(三鷹市)

(5)中級パラスポーツ指導員養成講習会(9日間)

日程:①6/22(土)②7/6(土)③7/28(日)

④11/30(土)⑤12/7(土)⑥12/21(土)

⑦1/18(土)⑧1/25(土)⑨2/1(土)

会場:①~③:パラトレーニングセンター(調布市)

④~⑥:荒川総合スポーツセンター(荒川区)

⑦~⑨:くにたち市民総合体育館(国立市)

2. 自主事業

(1)研修事業

研修会名	期日	会場
初任者講習会	5月25日(土)	新宿スポーツセンター
ニュースポーツ	6月1日(土) or 15日(土)	日野市民の森 ゆれあいホール
実務研修会	12月 日()	新宿スポーツ センター(仮)
交流ポッチャ大会	令和7年2月23日 (日・祝)	未定

(2)東京都スポーツ推進委員だより及び

ホームページの配信

(3)調査研究・資料収集

(4)顕彰(スポーツ推進委員功労者の表彰)

①(一社)東京都スポーツ推進委員協議会の表彰

(功労者、感謝状、特別表彰)

②(公社)全国スポーツ推進委員連合の被表彰候補者の推薦(団体と個人)

③関東スポーツ推進委員協議会の被表彰候補者の推薦

3. 派遣事業

(1)関東スポーツ推進委員研究大会

6月7日(金)~8日(土) 千葉県成田市

(2)第65回全国スポーツ推進委員研究協議会

11月14日(木)~15日(金) 宮崎県宮崎市

(3)生涯スポーツ・体力づくり全国会議 2025

令和7年2月 日 石川県金沢市

(4)スポーツ推進委員リーダー養成講習会

月 日(金)~ 日(土)

【協力事業】

1. 東京都(予定)

①東京都生涯スポーツ担当者研修会

②障害者スポーツセミナー 令和7年2月23日(日)
新宿スポーツセンター2. 東京都パラスポーツトレーニングセンター委託事業
(年2回)

3. (公社)全国スポーツ推進委員連合

(1)機関誌「みんなのスポーツ」の購読促進

(2)「スポーツ推進委員手帳」

「スポーツ推進委員ハンドブック」の普及推進

(3)シンボルマークのグッズの普及推進

(ジャンパー・ポロシャツ・バッジ・ペンダント・
ネクタイ・タイピン・ピンブローチなど)

(4)賛助会員としての協力促進

(5)その他関連事項等

【その他】

1. (公社)全国スポーツ推進委員連合総会

6月14日(金) (順番で理事になる)

2. (公社)全国スポーツ推進委員連合理事会

5月7日(火)、3月 日()

3. 関東スポーツ推進委員協議会理事会

6月7日(金) 令和7年2月 日()

社員総会



令和5年度 第4回社員総会

令和6年3月13日(水)18時30分、武蔵野公会堂会議室にて、第4回社員総会が実施されました。

まず新島会長から、新型コロナウイルスが5類に移行され、色々な事業が各地で行われるようになりました。私達の事業も皆様のおかげで、今年度予定されていた全ての事業が無事終わることが出来たことに対して謝辞が述べられました。続いて公益社団法人東京都障害者スポーツ協会スポーツ振興課の萩原郁美係長から情報提供がありました。

その後、定足数の確認がなされ(出席39名、委任状14名、合計53名) 続いて議長の選任が行われました。

(1) 報告事項

1) 理事会(山本委員長)

第8回(1月10日)、第9回(2月14日)、第10回(3月6日)に実施された理事会の報告がありました。

2) 各委員会(各担当委員長)

○企画総務委員会(山本委員長)

第5回企画総務委員会(1月15日)、第6回企画総務委員会(2月13日)について説明がありました。

○研修委員会(中村委員長)

第7回研修委員会(2月9日)、第8回研修委員会(3月5日)について説明がありました。

○情報委員会(平野委員長)

第4回情報委員会(3月11日)について説明がありました。

○リーダー委員会(濱谷委員長)

第8回リーダー委員会(12月20日)、第9回リーダー委員会(1月25日)、第10回リーダー委員会(2月29日)について説明がありました。

3) 財務報告(飯ヶ谷財務) 「令和6年度能登半島地震」被災地への義援金について

4) 地域スポーツ支援研修会報告(山本委員長)

区部 1月20日(土) 港区リーブラ
市町村部 2月10日(土) 立川市アイム
全域 2月17日(土) 文京区民センター

5) 生涯スポーツ・体力づくり全国会議 2024

(新島会長) 2月9日(金) 愛媛県松山市

6) 都スポ協「交流ポッチャ大会」(山本委員長)

2月23日(金・祝)

会場：墨田区立曳舟小学校体育館

7) その他として新島会長から3月1日(金)千葉市で行われた「関東スポーツ推進委員協議会 第2回理事会」の報告などが行われました。

(2) 確認事項

1) 東京都パラスポーツトレーニングセンター委託事業(岡田副会長)

2) その他

(3) 協議事項

1) 令和6年度事業計画案(山本委員長)

2) 令和6年度予算案(飯ヶ谷財務)

3) その他

(4) その他

最後に岡田副会長から閉会の辞が述べられ、総会は滞りなく終了しました。



記事 平野秀夫 情報委員会(江戸川区)
写真 加来 剛 情報委員会(豊島区)

研修会



地域スポーツ支援研修会【区部・市町村部】

令和6年1月20日(土)港区男女平等参画センター「リーブラ」で地域スポーツ支援研修会(区部)が行われました。東京都生活文化スポーツ局スポーツ総合推進部スポーツ課 地域スポーツ担当課 課長代理

若菜大介様の挨拶と 都スポ協 新島会長挨拶の後、「ろう者とのコミュニケーションとデフスポーツの紹介」をテーマに研修会を行い、参加者は105名でした。講師の亜細亜大学 経営学部 特任准教授 障がい学生

修学支援室支援コーディネーター 橋本一郎先生は、教え子でもあるデフリンピック陸上短距離金メダリスト山田真樹様、デフラクビー世界大会出場の岸野楓様、手話通訳士 保科隼希様と共に2025年東京デフリンピックを見据え、手話やジェスチャーでコミュニケーションを取りながら外見では判断しづらい障がいについて学びました。手話は国によっても違う事、方言もある事などや日常生活での聴者との違いや困りごと、競技中のコミュニケーションの難しさなどをクイズ形式や様々な事例を踏まえながら学びました。また、スポーツイベントでの聴覚障害者の申込や受付などの対応方法の実例はとても参考になりました。橋本先生はデフリンピックをきっかけに聞こえない人たちのスポーツを広める事・考える事はもちろん、デフリンピック競技に入っていない地域の子も達の生活が豊かになる為の開催であって欲しいとお話しになったことがとても印象的でした。最後に都スポ 宇山企画総務委員会副委員長より閉会の辞を述べ、研修会は終了しました。

記事 菅野 宏潔 情報委員会（台東区）

令和6年2月10日(土)立川女性総合センター「アイム」1Fにて、地域スポーツ支援研修会(市町村部)が行われました。学校法人亜細亜大学 障がい学生修学支援室支援コーディネーター 経営学部 特任准教授 橋本一郎先生、デフリンピックメダリストの山田真樹様、佐藤奏様、岡田海緒様、手話通訳士の佐藤晴香様を講師にお招きして、「ろう者とのコミュニケーションとデフスポーツの紹介」という内容で地域スポーツ支援研修会が行われました。参加者は157名でした。

研修会に先立って、新島会長より、今回の研修でろう者との関わり方やデフリンピックに向けてのスポーツ推進委員の担う役割が大切になってくる旨の挨拶がありました。

研修会では、120分の講演とその後の10分間の質疑応答の予定で行われました。講演では、まず簡単な手話の紹介と講師の方の自己紹介がありました。それぞれ手話や顔の表情、大きなリアクションなどで説明し、会場の人たちを巻き込んでやり取りをしながらの楽しい紹介となりました。次にクイズ形式でろう者の実際の生活環境やコミュニケーションの仕方などの説明があり、2~3名の簡単なグループワークなどで身近なものの手話や口の動きを通してのろう者への伝え方、伝わり方についても学びました。そして、来年に控えた東京2025デフリンピックに向けての現状、つまり様々な課題や準備不足の点などについての詳しい説明などがありました。この状況について、スポーツ推進委員として私たちができることも説明していた

だき、競技する側、開催する側、観戦する側、関わる全ての人たちが協力し推し進めて、皆で東京デフリンピックを成功に導く必要があると教えていただきました。橋本先生の軽快なトークと他の講師の方たちとのテンポのいい掛け合いで、受講者を巻き込みながらの楽しい講習となりました。

質疑応答では、ろう者の方とともに楽しむイベントを開催するための工夫や気を付けるべき点はありますかと具体的な質問などがありました。橋本一郎先生からは自分の開催するイベントでろう者の子どもたちを対象としたイベントを毎年開催していて、皆さんが来て見るのは自由とのことなので、ぜひそのイベントに足を運んで、どのように運営しているかなど参考にしてみても回答をいただきました。

最後に宇山企画総務委員会副委員長より、講演内容について理解を深め、その知識を少しでも地域の事業に生かせるよう考えて活動していきましょうという旨の挨拶があり、研修会は終了しました。

今回の研修会は、ろう者との関わり方やデフスポーツについて、またその課題について知ることができました。東京2025デフリンピックを来年に控えた私たちは山積する課題一つ一つに取り組み、未来につながるようレガシーとして残し、スポーツをみんなが分け隔てなく楽しめるよう活動していくことが大切であるということ学んだとても有意義な研修会となりました。



記事 長谷川 恵二 情報委員会（昭島市）
写真 平野 秀夫 情報委員会（江戸川区）

研修会



地域スポーツ支援研修会【全域】

令和6年2月17日(土)14時10分から文京区民センターにおいて、東京都教育庁指導部指導主事(部活動振興担当)の谷川圭様を講師にお招きして、「学校部活動の地域連携・地域移行」に関する事例発表と今後の課題という内容で研修会が行われました。参加者は95名でした。開講式では、東京都生活文化スポーツ局スポーツ総合推進部地域スポーツ振興担当課長の前原淳様から8月の課題別研修会の話と最新情報提供の旨の挨拶がありました。次に、新島会長からスポーツ推進委員として何ができるのか一つのきっかけになればとの挨拶がありました。

講義では、令和4年12月スポーツ庁、文化庁より「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を基に①部活動改革の背景について②東京都の現状や取組について③実証事業についての話がありました。部活動顧問をされる教師の勤務状況や少子化の影響等の背景について、また少子化の進行により学校単位の部活動の存続が困難だったり、専門的な技術指導ができる顧問が約半数との現状説明がありました。また、東京都の取組として、公益財団法人東京学校支援機構(TEPRO)の人材バンクへの登録の呼びかけがありました。

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業(運動部活動の地域移行等に向けた実証事業)で品川区・杉並区・板橋区・狛江市の取組の紹介がありました。また、4~6名でのグループワークもあり、3点(講義で印象に残ったこと・スポーツ推進委員ができそうなこと・そうするために、どのように取り組んでいくか?)を話し合い、2つのグループから発表がありました。

地域連携・地域移行の違いを理解し、その地区に合った推進の取組方を見出ししていく必要性を感じました。人材バンクへの登録のお願いなど、良い機会をいただいた研修会でした。



記事 國崎 由実子 情報委員会(葛飾区)
写真 平野 秀夫 情報委員会(江戸川区)

研修会



生涯スポーツ・体力づくり全国会議2024

全体テーマを「Sport in Lifeの実現を目指して、今、求められること」とした生涯スポーツ・体力づくり全国会議2024が令和6年2月9日(金)、愛媛県松山市で開催され、令和5年度体力づくり優秀組織の表彰、全体会、5つの分科会が行われました。

■表彰式

文部科学大臣賞を受賞した5組織、体力づくり国民会議議長賞を受賞した3組織がそれぞれ表彰されました。

■全体会(トークセッション)

テーマ:『地域の人々のスポーツを通じたライフパフォーマンスの向上に向けて』

ファシリテーターに早稲田大学の金岡恒治様、スピーカーに室伏広治様(スポーツ庁長官)、岡田武史様(株式会社今治・夢スポーツ代表取締役会長)、佐伯美香様(バレーボール・ビーチバレー元日本代表、日本ビーチ文化振興協会代表理事)、関根康人様(東京工業大学)

地球生命研究所所長)を迎えてトークセッションが行われました。

室伏様は運動・スポーツの捉え方や運動器の機能評価について、岡田様はFC今治の挑戦について、佐伯様は愛媛のビーチバレーについて、関根様は生命を育む橋は宇宙にあるかについて発表し、テーマに沿ったトークが展開されました。

スポーツ庁のホームページに掲載されている「自分の身体知っていますか?~室伏広治のセルフチェック」の紹介もありました。

■第3分科会

テーマ:『地域課題に応じた自律的な Sport in Life 推進システムを構築する ~多様な連携・協働を支援するスポーツ推進委員の連絡調整~』

コーディネーターに藤井和彦先生(白鷗大学教育学部教授)、パネリストに浅沼道成様((一社)盛岡市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会代表/岩手大学尋

問社会学部教授、大濱あつ子様(NPO 法人スマイルクラブ理事長)、中尾聡様(岐阜県羽島市市民協働部スポーツ推進係長)を迎えて行われました。

浅沼様は総合型クラブを機能化する連携づくりについて、大濱様はパラスポーツを核とした連絡協議会の組織化と役割について、中尾様は学校運動部活動の地域移行を契機とした新たな地域スポーツの仕組みについて発表し、会場を交えたディスカッションが展開されました。会場からは部活動の地域移行についての質問が多くありました。

■全体を通して

夢や目標の共有を含めた情報共有の重要性を感じた研修会となりました。主体性を育むうえで大切なことは「教えるではなく聴くこと」であるとの岡田様の発言が印象に残りました。

記事 新島 二三彦 会長

研修会



交流ポッチャ大会

令和6年2月23日(金・祝)14時から、3回目となる都スポ協交流ポッチャ大会が、墨田区立曳舟小学校の体育館において57名の参加で行われました。

東京都スポーツ推進委員協議会の役員・正社員・各地区会長が1チーム3~4名に分かれ合計16チームを作り、4ブロックに分けて競技をしました。高度な技が出たり、白のジャックボールが次々と移動して面白い展開のゲームとなり、あちこちから賑やかな歓声や拍手などが聞こえ、随所にハイタッチが見られるなど熱戦が繰り広げられました。

決勝戦の審判は、新島会長が行いました。大会結果は、1位C1チームの工藤宜さん(葛飾区)青木純さん(八王子市)角田暁紅さん(渋谷区)三枝敏洋さん(小金井市)、2位B3チームの杉本賢一さん(板橋区)田村真理子さん(西東京市)石塚敏朗さん(八王子市)國崎由実子さん(葛飾区)、3位はB2チームの、永久保美代子さん(大田区)長谷川嘉子さん(小金井市)谷昭男さん(目黒区)小貫春信さん(杉並区)と、C2チームの菅野宏潔さん(台東区)石橋正春さん(小平市)金井利奈さん(墨田区)中井明さん(瑞穂町)の2チームでした。

表彰式の総括として岡田副会長から「このような交流会は必要です、次回もどうぞご参加ください。」と言葉をいただき閉会となりました。親睦会も久しぶりに行われ、大いに盛り上がった楽しい交流会でした。



記事 長崎 より子 情報委員会(千代田区)
写真 平野 秀夫 情報委員会(江戸川区)



東京マラソン2024

令和6年3月3日(日) 東京都庁をスタートし東京駅前行幸通りをフィニッシュとした、東京の名所を巡る「東京マラソン2024」が開催されました。当日はランナーにとっても良い気象条件のなかでレースは始まり、コロナ禍明けによる海外からの参加者も多く見受けられ、約3,600名のランナーが東京の街を駆け抜けました。オリンピックイヤーのレースということもあり、オリンピック出場をかけた選考レースでもありました。オリンピックを目指し参加した選手達は、奮起したものの、設定記録の2時間5分50秒を上回る選手はいませんでした。レースは、事前からハイペースが予想されるなか、途中まで世界記録を上回るレース展開となりおおいに盛り上がりました。結果は、男子がベンソン・キプルト（ケニア）が日本国内最高記録の2時間2分16秒で初優勝、女子はストゥメ・アセファ・ケベデ（エチオピア）が日本国内最高記録となる2時間15分55秒で初優勝しました。車いすマラソンの部は、鈴木朋樹選手（トヨタ自動車）が1時間23分5秒で優勝しました。



記事・写真 菅野 宏潔 情報委員会（台東区）

編集後記

今年度は各地区での活動がコロナ禍前の状況におおよそ戻ることが出来た、そんな一年だったのではないのでしょうか。都スポ協の事業も今年度予定されていた全ての事業を無事終えることが出来ました。今年度の「地域スポーツ支援研修会」区部・市町村部では、来年東京で開催される東京2025デフリンピックを見据え「ろう者とのコミュニケーションとデフスポーツの紹介」がテーマでした。また全域では「学校部活動の地域連携・地域移行」がテーマでした。学校部活動の地域移行に関しては地域によって進み方、考え方が大きく違ってきていると思います。今後も皆様の活動のお役に立てるような情報を提供し続けていきたいと思ひます。

最後に、情報委員会の皆様、おかげさまで無事2期4年情報委員長を務めることが出来ました。ありがとうございました。今後とも情報委員会を、よろしくお願いいたします。

編集 平野 秀夫 情報委員会（江戸川区）

#####